

特定非営利活動法人ハンガー・フリー・ワールド(HFW)  
2015年12月度理事会 議事録

- 開催日時 2015年12月5日(土)13:00～16:30
- 開催場所 HFW事務所
- 役員総数 10名(理事9名、監事1名)
- 出席者数 9名  
齊藤恵一郎理事長、星野直副理事長、犬嶋由香里理事、関口和孝理事、西岡はるな理事、渡邊奈美子理事、山本のり子理事、渡邊清孝理事・事務局長、矢崎芽生監事
- 委任状提出 1名  
原田麻里子理事

■議事

1. 開会(司会:渡邊理事・事務局長)
2. 出欠確認(上記の出欠状況が報告された)
3. 理事長挨拶
4. 議事録署名人の選出  
齊藤理事長より、犬嶋理事、渡邊理事・事務局長が選出された。
5. 前回理事会議事録の確認
6. 議事

【審議事項】

◎1)団体章デザイン案

事務局長より資料①の議案が上程され、以下の付帯条件付きで小文字のデザイン(色は金色)が採択された。

- ・背景の金具の形状は四角と楕円形、2種類の案を用意し、値段と利用規程と共に理事メンバーリストで決裁し、次回理事会で完成品を配布する。
- ・交換バッジについては、使用場面のニーズを事務局で調査し別途審議する。

【報告事項】

◎2)財務

事務局長より、資料②の報告がされた。パルシステム東京の支援先変更に伴う今後の生協へのアプローチについて、HFWの強みを従来以上に活かし営業活動に取り組むよう、事務局に指示がなされた。

◎3)会員・ひとつぶ募金拡大現状

事務局長より、資料③の報告がされた。会員宛の感謝のメッセージカードが、理事会の承認がなく、かつ差出人が理事長名でないことについて、理事会軽視にあたるとの意見が出され、以下の対応を取る事となった。

- ・感謝のメッセージカードは理事長名で出し、不要な情報は削除し、発行・発送する。
- ・メッセージカードを廃止し、感謝状に変更する。
- ・感謝の手紙に付属していた付録は廃止し、活動国から届くサービスに変更する。

◎4)地域開発／アドボカシー／啓発活動／青少年育成／社会的責任

事務局長より資料④-1、資料④-2、資料④-3、資料④-5、青少年育成担当職員の熊坂より資料④-4の報告がされ、以下の対応がなされた。

(アドボカシー)

- ・星野副理事長より食料への権利の分かりづらさ、並びにウガンダ訪問時に見聞した飢餓状況の体験を通じ、新しい活同国の検討のニーズが話され、同様に問題意識を持った理事長より、引き際のタイミングを担当理事と事務局で検討するよう依頼がなされた。
- ・西岡理事より、バングラデシュの開発組織の提言活動がHFWの活動とどう関係するかについての質問があり、別途理事ミーリングリストで回答することになった。

(啓発活動)

- ・星野副理事長より、“食料への権利”を平易な言葉に置き換える視点の重要性が説明され、理事長より、議論・進化させていくよう意見がなされた。

(青少年育成)

- ・西岡理事よりGYC報告について質疑がなされ、次回理事会で報告することになった。

(社会的責任)

- ・理事長より、ドナーとの関係強化を目的に生協からの外部評価の提案がなされた。

【討議事項】

◎5) 役員の渡航中の座席基準

役員の出張におけるフライトの座席基準について、以下の主な発言がなされ、次回理事会で引き続き討議することとなった。

- ・役員はボランティア。体調や障害の負担等を考慮すべき。渡航費を寄付すればとの意見があったが行くことが重要。
- ・JICA役員はビジネスクラスが認められており、NGOも認めるべき。
- ・苦痛のためのビジネスクラスはドナーとして受け入れられない。
- ・対外的な会議と内部の視察と会議は区別され、内部の場合は違和感がある。
- ・マイルージ等に拘らず総合的に検討しては。
- ・内規としての検討／他のNGOの状況／15年の組織の変化から検討したい。

以上、この議事録が正確であることを証するため、議事録署名人が下記に署名する。

2016年 2月 5日

議長

星野 勇一



議事録署名人

犬嶋 由香里



渡邊 清孝

